

事務事業評価シート(平成21年度)

(義務的事業)

(A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>		担当課		課長名		記入者	
		教育総務 課		萬浪佳隆		宮原文隆	
事務事業名		新規・継続		事業開始年度		完了予定年度	
文化財保護事業		新規		年度		年度	
		○ 継続		○ H19以前		○ 未定	
事務事業の体系							
計画 掲載	多可町総合計画		(章) 2 笑顔でつつむ、あったかいまち	(節) 6 地域文化の振興			
			(基本計画) 文化財の保護・周知				
	個別計画						
根拠法令・条例・要綱等				事業区分(該当する区分に「○」)			
文化財保護法、多可町文化財保護条例				ソフト事業		施設の維持管理	
				○ 義務的事業		内部管理事務	
事務事業の具体的内容				建設・整備事業		計画などの策定	
町内の各種文化財の基礎データを作成し、保全・活用を図る				補助金の支給		有 ○ 無	
				委託		全部委託 一部委託	
				○ 委託なし(全部直営)			

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象(働きかける相手・誰が・もの)	受益者(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
職員・住民	住民	文化財の保護・周知・活用を図る

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>				会計名		一般		会計	
細目名		那珂ふれあい館運営事業		細目名				細目名	
予算 コード	款	項	目	節	予算 コード	款	項	目	節
	10	5	6	1					

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>						
事務事業・人員		単位	20年度 決算	21年度 実績(見込)	22 年度 計画	備 考 (全体事業費など)
総 コ ス ト			7,434	7,185	8,285	
コスト の内訳	直接事業費	千円	917	668	1,768	
	所属内間接費					
	人件費		6,517	6,517	6,517	
	投入人員	人/年	0.77	0.77	0.77	
	嘱託員		0.15	0.15	0.15	
財源 内訳	国・県支出金	千円				【特定財源内訳】 町史等頒布代50
	地方債					
	その他特定財源		97	124	50	
	一般財源		7,337	7,061	8,235	

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>							
事務事業を構成する業務		手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単位	20年度 実績	21年度 見込	22年度 目標
1	文化財悉皆調査	悉皆調査(仏像・絵画等)	データ化	回	15	10	15
2	文化財悉皆調査	悉皆調査(民俗・古文書等)	データ化	回	17	15	17
3	展示企画展	談話室による歴史資料の公開	企画展開催	回	2	2	2
4	文化財保護審議会	悉皆調査基礎資料の提示	審議会の開催	回	1	1	1
5							

(義務的事業) (B面)

6 事務事業の実績 <Do③>		事務事業名 [文化財保護事業			備考 (成果指標の考え方・計算方法)
成果指標(意図の数値化)	単位	20年度 実績	21年度 実績(見込)	22 年度 目標	
悉皆調査	回	32	25	20	悉皆調査の実施により、地域に残された文化財を把握し、保護・活用に努め、住民のふるさとを重んじる心の育成に寄与する
展示企画展	回	2	2	2	

7 事務事業の事後評価 ＜Check＞				(義務的事業)								
チェック項目				該当項目に「○」				担当の把握している課題				
妥当性	サービス水準の妥当性	事業開始時から社会環境の変化は		ない	○	ある						
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は		ない	○	ある						
		他市町と比較してサービス水準の見直しの余地は		○	ない	ある		把握なし				
	連携の可能性	他課で類似の事業は		○	ない	ある						
		他の事業と統合できる可能性は			ない	ある	○	あるが困難				
		民間や他の行政機関と連携できる可能性は			ない	ある	○	あるが困難				
		市民団体・ボランティアなどと協働できる余地は			ない	ある	○	あるが困難				
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は			ない	○	ある					
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は		○	ない	ある						
		サービス向上の観点から実施方法を見直す余地は			ない	○	ある					
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更に よるコスト削減の余地は			ない	ある						
		受益者負担を見直す余地は		○	ない	ある						
市場化の可能性		既に全部委託済			更なる委託化が可能である			委託化の余地があり		○	委託化は不可能	
		市場化テストの導入について検討する余地がある					市場化テストの導入を検討する余地はない					
改善の可能性				1.改善の余地はない		○		2.改善の余地がややある				
				3.改善の余地が多い				4.抜本的な見直しが必要				

事務事業評価書

8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action>文化財保護事業

職場からの意見(担当者)									
(課題の解決についての提案など) 急激な社会的変化によって文化財が急速に失われつつある。失われた文化財は取り戻すことが非常に困難である。こうした点を鑑みると、今この事業を重点的に進めるべきと考える。									
担当課長評価									
(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 失われつつある伝えなければならない伝統文化の継承事業は、緊急性を有すると考えるため、その調査の成果を製本や映像化し地元集落へ還元させ、伝統文化の本来の姿を継承させたい。									
所管評価	○	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3.内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7.終了・完了	内部評価		4
教育長評価									
(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 文化財の重要性を十分理解した上で、計画通りに継続していきたい。									
事業評価	○	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3.内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7.終了・完了			
評価委員コメント									
今後は現状を維持しつつ、より一層の事業改革を図られたい。									